

実は身近にいるのかも？



ハクビシンの生息情報



ハクビシンは環境省、農林水産省によって、**重点対策外来種**に区分されており、甚大な被害が予想されるため、対策の必要性が高い種になっています（生態系被害防止外来種リストより）。

ハクビシンとは

全長：90～110cm 体重：3～4kg
原産地：東南アジアから中国南東部
国内分布：本州、四国
生息地：森林、草原、民家周辺
行動：夜行性（昼間は樹上のうろや家屋の屋根裏などで休息）
利用環境：水辺を好み、河川や用水路、側溝などを頻りに利用
能力：木登りが得意（柱に登ったり、電線の上を歩くこともできる）
食性：雑食

撮影：東部農林水産振興センター出雲事務所



マップonしまね「島根県ハクビシンマップ」でハクビシンの生息情報を公開しています。
益田市内では2016年にハクビシンが捕獲されて以降、生息は確認されていませんでしたが、2022年に益田市美都町で自動撮影カメラにより確認されました。

島根県の生息状況

島根県では、2016年に益田市で初めてオス1頭の捕獲確認後、2022年12月までに捕獲されたあるいは交通事故にあった個体数は**合計12頭**となりました。そのうち、出雲市においては、メス3頭が捕獲され、妊娠履歴や子供の捕獲から、繁殖していることが認められました。このことから、生息数のさらなる増加が懸念されます。

被害状況

ハクビシンは甘いものが好物で、全国的には、モモ、ブドウ、カキ、リンゴなどの果樹や、トウモロコシ、メロン、イチゴ、トマト、ジャガイモなどに被害が発生しています。この他にも、ゴミ捨て場を荒らしたり、家屋侵入による糞尿や騒音被害も発生しています。

島根県では、被害金額としてはあがってはいませんが、調査した3個体の胃内容物からはブドウ、カキ、イチゴが認められました。本県では、ブドウ、カキをはじめとした果樹の生産が盛んなので、ハクビシンの生息数が増加すれば、それらの果樹への被害も増加する可能性があるため、注意が必要です。

「ハクビシンかも…」と思ったらすぐ通報！

皆さまの目撃や痕跡情報などが早期対策に繋がります。ハクビシンを見つけた際には、**中山間地域研究センター鳥獣対策科（TEL:0854-76-3818）**までご連絡をお願いします。その際は、見つけた日時や場所とその状況をお聞かせください。さらに、撮影した画像などがあると個体識別ができます。

他の動物との見分け方

アライグマ 耳のふちが白い ひげが白い 縞模様 目の周りが黒い 鼻筋が黒い	アナグマ おでこは白っぽく ハクビシンと間違いやすい 尾は短い
タヌキ 耳のふちが黒い 足の毛は黒い 尾は短い	ハクビシン おでこから鼻にかけて白い線 尾が細長い

担当：鳥獣対策科



島根県中山間地域研究センター情報誌

Chu-San-Kan press

チュウサンカンプレス

研究の森から中山間地域を応援します



令和5年
Vol.36

特集

・中山間地域ってどんなところ？

・実は身近にいるのかも？ハクビシンの生息情報

【鳥獣対策科】



写真タイトル：「わたしのおうち」

撮影者：狩野 敏規



島根県中山間地域研究センター情報誌

Chu-San-Kan press

チュウサンカンプレス

令和5年
Vol.36

研究の森から中山間地域を応援します

編集・発行

島根県中山間地域研究センター
〒690-3405 島根県飯石郡飯南町上来島1207
TEL 0854-76-2025 FAX 0854-76-3758



WEBで検索 島根県中山間地域研究センター

検索

中山間地域って どんなところ？

島根県中山間地域研究センターでは、中山間地域の住民のみなさんとともに、安心して暮らすことができる、そして次世代に引き継ぐことができる地域づくりに取り組んでいます。今回は、「中山間地域」とはどのような場所であるかを見ていきましょう！

中山間地域（山間農業地域 + 中間農業地域）



山林

私たちの先祖が木を植えて育ててきた森である人工林などがあります。人工林では家の柱などになる木材を伐り出して、その場所にまた苗木を植えて育てるといった循環型林業を島根県は進めています。

集落

中山間地域に住む人々が助け合いながら生活している場です。ここに住む人々が中心となって田畑や山林を管理することで、自然の恵みを受けることができます。

製材所



丸太



角材に加工

イラスト：
かげやままき

Q1 中山間地域ってどういう地域のこと？

A 平野の外縁部から山間地にかけての地域のことです。

国の機関である農林水産省は、農業地域類型区分として以下の4つを設定しています。（各地域類型区分についての説明は本センターがわかりやすく記載しています）

都市的地域：宅地が多く、人口密度が比較的高い

平地農業地域：平場の田畑が多い

中間農業地域：平地農業地域に比べて傾斜地にある田畑が多い

山間農業地域：山林が多い

中山間地域は**中間農業地域**および**山間農業地域**を合わせたエリアのことです。

島根県では豊かで住みよい中山間地域をつくることを目的に、「**島根県中山間地域活性化基本条例**」を制定しています。**この条例では、県土の約9割が中山間地域に指定されており、この地域には約5割の県民が住んでいます。**

Q2 中山間地域って大事なの？

A 大事です。あなたの生活を守り、豊かにする大切な役割があります。

中山間地域では私たちが生きていくうえで必要な食べ物が生産されています。また、山林は家や家具、燃料などの材料となる木を育む場であるとともに、雨水をおいしい水に浄化して私たちに届けてくれています。その恵みは、都市的地域などに暮らす人々も含めた全ての県民の生活に必要な不可欠なものです。

そして、集落に住む人々は大事な田畑や山林を管理する担い手であるとともに、固有の伝統文化を受け継いでいくなどの非常に大切な役割を担っています。

Q3 中山間地域にはどんな問題があるの？

A 地域の人口減少や高齢化が進み、さまざまな問題が生じています。

たとえば、農林業をする人が少なくなり、田畑や山林が荒廃するなどの問題が生じています。また、集落内で草刈りをする人数が不足するなど、お互いの支え合いで安心して暮らし続けることが難しくなっている集落が出てきています。その結果として、食べ物などの生産力が低下したり、洪水などの災害リスクが高まるなど、中山間地域に暮らす人々が長い間担ってきた役割を果たせなくなり、県民生活全体に影響が出る恐れがあります。

Q4 中山間地域はどうすれば守れるの？

A 中山間地域を次の時代に引き継ぐために地域を支える仕組みづくりや新たな技術開発が必要です。



そのために島根県は中山間地域の総合研究機関である島根県中山間地域研究センターを1998年に設立しています。

中山間地域研究センターでは、下記に示すような各分野の研究を行っています。

さらに、農業技術センターや畜産技術センターと連携した研究も進めています。

地域研究科

中山間地域に暮らす人々が今後も安心して暮らし続けるための地域の支え合いの仕組みや次の世代も地域に関わりたい・住みたいと思える地域づくりの手法についての研究をしています。

きのこ・特用林産科

きのこ類やクロモジなどの山林で採れる産物を活用して、中山間地域の所得を向上させる研究をしています。

鳥獣対策科

人と野生動物との共存を目指すために、生息動向の把握や農林作物への被害を防ぐ手法などの研究をしています。

森林保護育成科

循環型林業の実現のために、伐った木を運ぶ方法や苗木の作り方と苗木を山に植えた後の育て方などの研究をしています。

木材利用科

山林から伐り出した木材を有効に利用するための方法について研究をしています。

詳細はコチラ！



島根県中山間地域研究センター HP